

# 予算審議 あれこれ

# 総務常任委員会

総務課・地域振興課・企画課・財政課・税務課・市民課・会計課・議会事務局・監査委員事務局・選挙管理委員会の所管に属する事項及び他の委員会に属さない事項を審査しました。

## 普通交付税の減額の影響

**問** 普通交付税が合併算定替えにより減額されるが、影響額は。

**答** 合併市町村に対する特例措置が、平成 27 年度に終了し、平成 28 年度から段階的に減額され、平成 30 年度は 2 億 6 千万円を想定している。

年度	影響額	平成 27 年度比
平成 28 年度	7300 万円	▲ 10%
平成 29 年度	1 億 8 千万円	▲ 30%
平成 30 年度	2 億 6 千万円	▲ 50%
平成 33 年度	5 億 2300 万円	▲ 100%

**問** 交付税が減額される中で、歳出を抑える工夫・施策が必要ではないか。

**答** 今回初めて各課に一般財源枠を設けて、優先順位を付けて予算編成を行った。

## 宅地分譲



**問** 宅地分譲事業の場所と区画数は。

**答** 場所は、大隅南地区農業構造改善センター隣で、約 6000㎡の土地を 12 区画分譲するものである。

**問** 市有地活用定住促進補助金は、これまで宅地分譲した土地が、5 年以上売れなかった場合が対象であったが、改善すべきでは。

**答** 今年度より取得価格の 10%、市外は上限 50 万円、市内は上限 30 万円を宅地分譲初年度から支給する。

## 定住促進対策事業



**問** 今回の新規事業の内容は。

**答** 独身男女の出会いをサポート（仲介）し、結婚支援を行う出会仲介人（婚活サポーター）を募集・認定して、結婚支援の活動やノウハウを獲得するための研修を行うもの。男女スキルアップのためのセミナー、マッチングパーティーを開催し支援を行う。

## クリーンセンター改修工事



**問** 改修予定期間は。

**答** 本年 5 月～6 月にかけて 2 号炉の解体作業を始め、平成 32 年 3 月に完了予定である。

**意見** 改修工事を行って寿命が 15 年ほど伸びるが、今後のごみ処理の在り方を検討すべきである。

# 文教厚生常任委員会

保健課・福祉課・介護福祉課・保健福祉課・福祉事務所・教育委員会（総務課・学校教育課・社会教育課）の所管に属する事項を審査しました。

## 子ども・子育て支援の充実



**問** 放課後児童クラブの利用状況は。

**答** この数年、利用者が急激に増えている。

**問** 利用定員数と運営施設は。

**答** 利用定数は801名の予定で認定こども園、保育園、地域の幼児学園、公民館等が運営している。

## 末吉地区体育施設管理費



**問** 末吉地区体育施設管理費の主なものは。

**答** 末吉総合体育館耐震診断委託料（昭和54年築）・新地公園グラウンドゴルフ場車庫及び休憩所新築工事（2棟）が主なものである。

**問** 駐車場用地取得分は入っているのか。

**答** 都市公園管理費に計上してある。

## 財部温泉健康センター



**問** 職員は指定管理の協定書どおりに配置されているのか。

**答** 協定書では従業員14名となっているが、正規職員7名、非正規職員6名で合わせて13名である。ハローワークに募集しているが応募がない。

**意見** 労働条件の改善等検討が必要である。

## 新しい介護予防・日常生活支援総合事業



**問** 予算増減の要因は。

**答** これまで市が行っていた包括支援センターでの業務を、今年度から社会福祉協議会に委託するための委託費とグループホームの家賃助成が主なものである。介護サービスの大きな流れとして施設型からデイサービスを含む地域密着型に移行しつつあるため給付費が抑えられている。

# 建設経済常任委員会

農林振興課・商工観光課・畜産課・耕地課・産業振興課・建設課・水道課・建設水道課・農業委員会事務局の所管に属する事項を審査しました。

## 新地公園用地取得



**問** 新地公園用地取得費の駐車場整備は、グラウンドゴルフ場のものか。また、今後の事業計画は。

**答** 協会や利用者から駐車場が少ないとの声があり、今回取得することとなった。土地取得交渉を継続している区域を除き、今回で終わりである。

## 和牛日本一『鹿児島黒牛』



**問** 道の駅すえよしに設置する和牛日本一『鹿児島黒牛』PR事業の和牛像の費用対効果はあるのか。

**答** 県境である曾於市で、産地として肉用牛をPRするために県と協議した。平成30年10月に農業クラブ全国大会が鹿児島県で開催、平成32年度ホルスタイン全国大会が都城市で開催されるなど和牛日本一のPRにつながる。

## 農業公社設立に向けて



**問** 農業公社設立に向けての事業計画・収支計画が出来ていない状況なので、設立出資金ではなく設立準備補助金として予算計上すべきではないか。

**答** JA・ナンチクと足並みを揃えるため今回の予算計上となった。畜産を中心に進める予定であったが、準備委員会で繁殖センターは初期投資が大きいため計画からはずし、受委託作業とコントラクター事業から始める。

**意見** 7月設立は時期尚早であり、事業内容や組織確立に時間をかけて慎重に進めるべきではないか。

## 道の駅たからべきらら館 屋外便所改修



**問** 屋外便所の建築年度は。

**答** 平成14年に建築されたが木材の傷みがひどく同じ場所に建て替えをするものである。

**意見** きらら館の便所改修については、建築後15年しか経過しておらず、耐用年数25年を考慮して設計すべきである。